

主催：(一財)岡山セラミックス技術振興財団
共催：耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部
アカセル・ジャパン株式会社、株式会社猪原商会

第2回 セラミックス研磨技術セミナー

顕微鏡観察は、試料を作成するところから始まります。今回のセミナーは、昨年に引き続いて「アカセル・ジャパン」、「猪原商会」様のご協力により開催します。

研磨の過程で、どのような問題が、どこで生じるかなど映像を見ながら詳解していただき、特に研磨および琢磨の作業を4つのカテゴリーに分類して実用的な内容を盛り込んで解説する他、質疑応答や疑問点など、ごっくばらんに取り入れながら、第2回セラミックス研磨技術セミナーとして開催します。

日時

平成30年 4月20日(金) 13:00~17:00

会場

岡山セラミックスセンター セミナー室
備前市西片上 1406 番地 18

定員

講義：50名 実習：10名

※ 1 講義は複数参加可能、実技は同一企業1名まで先着順とします。

※ 2 講習会後の個別での質疑応答をメールでも受付します。

実技に参加できない方のアフター面も含めて、質問に回答させていただきます。

※2に関する問い合わせ先のmail⇒ mizota@optic.or.jp (財団 溝田)

受講料

無料

申込方法

別紙の申込書に参加者氏名や事前質問事項など必要事項を御記入の上、**FAXかメール**にてご送信ください。

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当：川端(かわばた)

TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227

Email: erazoku@optic.or.jp

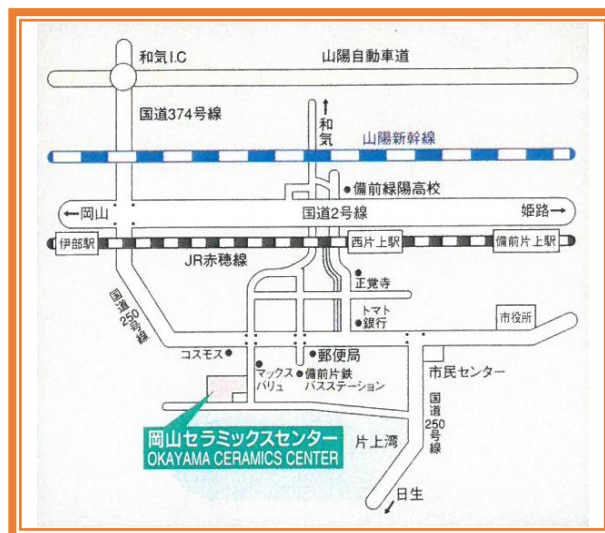
申込〆切

平成30年4月12日(木)

アクセス

JR岡山駅から約30km

- JR赤穂線で45分 西片上駅下車 徒歩約8分
- 車で約1時間



プログラム

| 時 間 | 項目／概要 |
|-------------|--|
| 13:00-13:02 | 開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓 |
| 13:02-15:02 | 【講義】 「セラミックスおよび金属材料における顕微鏡観察の試料作成の改善のポイント」 アカセル・ジャパン株式会社 代表取締役社長 坂 本 良 二 |
| | 【概要】 顕微鏡観察は、試料を作成するところから始まる。試料作成とは、切断、樹脂の包埋、研磨および琢磨、そして腐食までの作業を指す総称である。これら試料作成は、材料の特性、材料の硬度、材料の加工履歴などに考慮した上で、試料作成の作業条件を構築する必要がある。また、試料作成作業そのものが、いわゆる小さな金属加工であることから、これら加工の影響を受けた評価材料は、時として本来の真の微細構造とは異なった組織を現出させる事がある。適正な顕微鏡観察を行うには、試料作成作業により生ずる材料への影響を予見し、回避策を講じる必要がある。講義では、どのような問題が、試料作成作業上で生じ易いのかなど、具体的に映像を見ながら詳解する。 |
| 15:02-15:10 | 休憩 |
| 15:10-17:00 | 【実習】 「研磨作業の条件設定方法と各工程の見極めのポイント、そして作業上の問題の解決法について」 アカセル・ジャパン株式会社 代表取締役社長 坂 本 良 二 |
| | 【概要】 試料作成実習では、特に研磨および琢磨の作業を4つのカテゴリーに分類して、研磨材、研磨円板などの選定の仕方を解説する。また、研磨作業生じる問題の指摘とその解決法について解説を行う。 |
| 17:00 | 閉会 |

4月12日(木) 〆切 川端 行

FAX0869-63-0227

erazoku@optic.or.jp

第2回 セラミックス研磨技術セミナー 参加申込書

平成 年 月 日

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 御中

〒

住 所

会社名

申込者氏名

TEL

FAX

E-mail

以下のとおり参加申し込みます。

参加者氏名

| 氏 名 | 所属、役職 | 講義 | 実習 | 備考 |
|-----|-------|----|----|----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

講義などの中でお聞きになりたいこと、質問事項などを講師へ事前に伝達いたします。

質問事項

| |
|--|
| |
|--|